

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月15日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	掛川市役所	代表者名	市長 久保田 崇
担当者部署	企画政策部	連絡先電話番号	0537-21-1208
担当者役職	係長	担当者氏名	鈴木 健二
住所	436-8650 静岡県掛川市長谷1丁目1番地の1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	元自治体職員という立場から、内部業務についても理解をしたうえでDXをどのように進めていくかご講演をいただいた。幹部職員向けの研修であったため、部下がDXを推進できる環境を整えることの重要性をご説明いただいた。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月8日	10時00分	11時00分		60
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市長・副市長含む幹部職員	60人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画に示されているとおり、情報システムの標準化や行政手続きのオンライン化が、今後、短期間で大きく変革することになるが、業務のやり方を変えることやデジタル化への抵抗感が強い。そのため、行政職員の意識改革を早期に取り組みなければならない。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXについて、デジタル化はあくまで手段であり、行政サービスや職員の働き方が変革してることが本質であるということをお伝えいただきたい。また、行政職員としてのご経験から、幹部職員に対して、部下が自ら考え、積極的に意見を出すことができる環境を作るための助言をいただきたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	市長・副市長含む幹部職員向けに、行政職員としてのご経験から、どのようにDXを進めていくべきかという点や、部下が我慢せずに「わがまま(こうなればいいのに)」を言える環境を整えることの重要性について言及いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	DX推進を自分事ととらえ、各部署が積極的にDXについて取り組むための意識改革を行うことができた。今回の研修の内容を、幹部職員以外にも展開し、全庁をあげて意識の醸成を行っていく。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを実施し、「とてもわかりやすかった」「自治体職員の目線で説明してくれてよかった」という意見が出た。8割以上の参加者が内容について「満足した」と回答した。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

